



たらぎ

議会だより



P2 追加経済対策 で舗装・補修

P4 TPP参加反対意見書

P6~ 10議員 が町政を問う

P14 久米小 子ども議会



平成22年
12月定例議会

No.81

火あそびはしません！

(むつみ保育園幼年消防クラブ)

熊本県多良木町議会発行

補正

平成22年度第10回定例会は、12月10日から17日までの8日間開催され、同文議決3件、補正予算7件、委員長報告7件、追加日程で発議5件が提案され慎重に審議した結果、原案どおり可決しました。

また、一般質問には10名が登壇し、町長の考えを質しました。

年頭のご挨拶

“更なる議会改革をめざして”



町議会議長 中村 正徳

輝かしい新春を迎えるにあたり、多良木町議会議員を代表致しまして、町民の皆様に謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

さて、昨今を顧みますときに、五里霧中と言う言葉がありますが、まさに現在の国内外とも視界不良の政治・経済が続き、閉塞感だけが漂っております。少子高齢化社会、社会保障問題、環境問題、雇用の確保などどれを取りましても、全く先行きが不透明な状況下にあります。更に気がかりなのが、口蹄疫、鳥インフルエンザが依然猛威を振るいつつあるとのことです。

また環太平洋連携協定（TPP）参加の意向を検討するとのことですが、本町は一次産業（農・林業）が主産業であります。何としても断固阻止しなければなりません。これらの諸問題につきまして、町、議会一体となりまして、国・県など関係省庁に対し要望、陳情を行い、これらの問題改善に努めてまいります。

さて、話を議会に移しますが、多良木町議会におきましては、平成19年度より議会改革に取り組んでまいりましたが、町民の皆様には、必ずしも満足いただける結果ではなかったかも知れませんが、これまでの取り組みを振り返ってみますと、次期改選時より議員定数を16名より2名削減し14名と致します。議員報酬などの見直しにつきましては、本定例会についての費用弁償の支払いを廃止しました。また、議会報告会を平成22年9月初めての試みで開催を致しましたが、日時、場所などのアピール不足もあり参加者20名余りと少数でしたが、今後も継続的に開催致したいと思います。昨年より地元小学校6年生を対象に教育委員会と町と連携し子ども議会を開催致しております。これまで黒肥地小、久米小の児童が子ども議会を開催致しました。今後も年次開催致します。今後の取り組みと致しまして、議会の開示を更に進めるため議会中継を多良木町インフラ整備と連動し、録画・ライブ中継を行うよう準備を進めております。また、議会開催を通年議会、或いは議会による議会招集ができないか論議を進めてまいります。地域主権改革が叫ばれている中でこれらを精力的に推進していくには民意が必要であります。町民の皆様一人一人の声を聞かせて頂き、これを糧と致しまして、議会改革を更に強力に進めてまいります。本年4月は統一地方選挙の年であります。多良木町議会議員選挙も行われます。有権者の皆様の賢明なご審判を仰ぎたいと思います。改選時期まであと4ヶ月余りとなりますが、議員一丸となりまして、多良木町発展のため全力で頑張っておりますので、今後ともご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

むすびになりましたが、皆様にとりまして、本年が健康で幸多い年となりますようお祈り申し上げまして新年のご挨拶と致します。

追加経済対策事業に4,820万円

町道の舗装・補修工事費に充当

平成22年度
補正予算

一般会計補正予算は、
1億3,676万円を追加し
総額を59億4,904万円とする

《歳出の主なもの》

★わいわい子育てひろば設置改修工事請負費 ……………120 万円
【多目的研修センター玄関奥】

★子宮けいがんワクチン等
接種助成事業費 ……218 万円
【16歳までの希望者】



わいわい子育てひろば予定場所



中山間地対象地域（柳野地区）

★中山間地域等
直接支払制度交付金 ……1,548 万円
【本年度第3期分】

★県営大久保地区畑地帯総合整備事業 ……………2,700万円
【負担金】

★追加経済対策事業 ……………4,820万円
【町道舗装補修工事費】

- ・JAカントリー付近
- ・フルーティーロード

★町道永原線整備事業 ……1,181万円
【測量設計委託料】



補修を必要とする町道平松植木線

特別会計追加補正

国民健康保険	1,586 万円
久米財産区	69 万円
上水道事業会計（資本的支出）	2,673 万円
●配水管移設費（県道梶屋多良木線） ●加圧ポンプ設置費	
下水道事業	9,560 万円
●準幹線築造工事（黒肥地地区）	
後期高齢者医療	50 万円

みなさんからの陳情・要望

区 分	件 名 要 旨	提 出 者	付託委員会	結 果 意見書
陳情書	尖閣諸島付近で起こった中国漁船の領海侵犯、海上保安庁巡視船への衝突事件の真相究明と国の毅然とした対応を求める意見書提出について	自民党熊本県支部連合会 会長 山本 秀久	総 務	採 択 意見書 あ り
陳情書	国民健康保険財政への国庫負担割合を医療費総額 4 5 %に戻すことを求める意見書採択に関する陳情	熊本県社会保障推進協議会 会長 鳥飼香代子	厚生文教	採 択 意見書 あ り
要望書	E P A 交渉に関する要望書	球磨地域農業協同組合代表理事 組合長 池田 洋一	経済建設	採 択
要望書	緊急的な米需給調整対策に関する要望書	球磨地域農業協同組合代表理事 組合長 池田 洋一	経済建設	採 択
要望書	戸別所得補償制度に関する要望書	球磨地域農業協同組合代表理事 組合長 池田 洋一	経済建設	採 択
要望書	T P P 交渉への参加阻止にかかる緊急要請について	球磨地域農業協同組合代表理事 組合長 池田 洋一	経済建設	採 択 意見書 あ り
陳情書	子ども・子育て新システムの基本制度案要綱に基づく保育制度に対し、現行保育制度の拡充を求める国への意見書提出を求める陳情書	多良木町光台寺保育園 園長 橋永 素美 他 2 名	厚生文教	採 択 意見書 あ り
陳情書	国の責任による安心・安全な国土づくりと出先機関の存続を求める意見書提出に関する陳情書	国交省全建設労働組合八代支部 支部長 田形 隆一	経済建設	採 択 意見書 あ り

全員協議会報告

(10/5・19 12/10・17)

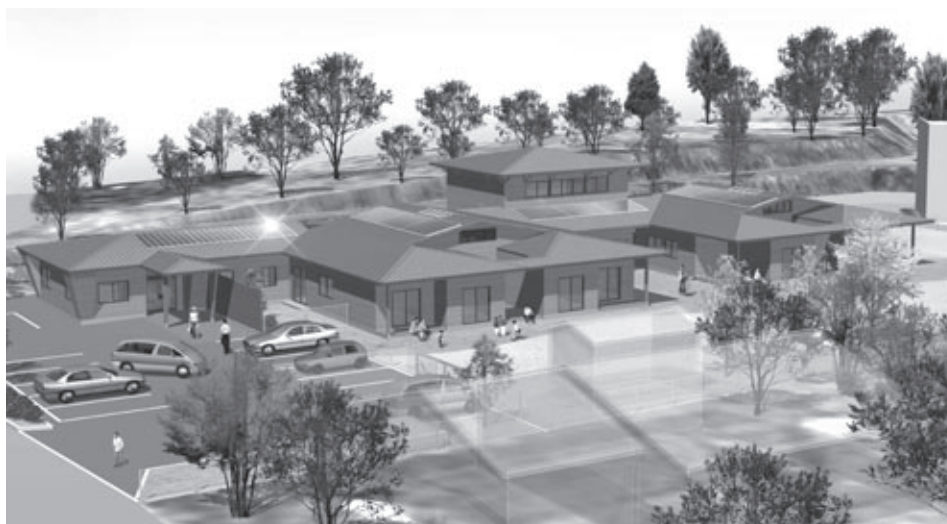
9月の定例議会以降、全員協議会を4回行った。

協議会の内容は、町民の皆様を対象とした議会報告会の開催、下槻木校舎の貸付、葉たばこ通常販売時の激励、多良木学園改築などとともに、消防救急無線のデジタル化、多良木小学校改築に伴うモニュメント設置など多岐にわたって協議した。それとともに多良木小学校改築現場、グラウンドゴルフ場の建設予定地などを現地視察した。

議会報告会 報告会の様子については前号で報告をしたので省略するが、反省点も踏まえて定期的にこのような報告会をしていくということを確認した。

下槻木校舎の貸付 人吉市の民間会社から、(旧)下槻木小学校施設を使って、きのこ栽培プラン(菌床栽培)の一年間の試験栽培を行いたいと町へ申し入れがあった。地元説明会も行われ、地域の皆様も賛同され、今後の可能性について検討されている。

多良木学園改築 県産材利用加速化促進事業(木造公共施設)の資金を利用した建築で、収容人数は現在と同じ30名として、24年春に完成の予定である旨の説明を受けた。



多良木学園 完成予想図

モニュメント設置 執行部は、多良木小学校改築に伴ってモニュメントを設置したい意向である。600万円の予算で3m×6mの絵画が計画されている。

10人が町政を問う

【全ての質問事項】

1 坂口 幸法 議員 (6ページ)

- ① 人吉・球磨スマートインターチェンジ整備促進協議会について
- ② 人吉・球磨地域公共交通活性化協議会について
- ③ 食育と健康づくりについて
- ④ 農林商工業の活性化について

2 瀬崎 哲弘 議員 (6ページ)

- ① 環太平洋連携協定(TPP)問題について
- ② 町づくり応援事業について
- ③ 充実した防災対策は
- ④ 子育て支援や健康づくりの環境整備について

3 井上 光男 議員 (8ページ)

- ① 明るい選挙とは
- ② 生活負担の軽減について

4 鍋田 清高 議員 (8ページ)

- ① 県道人吉水上線の改良整備促進について
- ② 子育て支援としての住宅政策は
- ③ 「いのち」は個を越えたみんなのもの、失わないための対応について
- ④ 林業の振興について

5 福島 典生議員 (9ページ)

- ① スポーツ・文化行事について
- ② スポーツ活動安全会費について
- ③ グラウンドゴルフ場の建設について
- ④ 「歴史回廊たらぎ」について
- ⑤ 来年の重要政策とその取り組みについて

6 山中 馨 議員 (10ページ)

- ① 2010年度補正と2011年度予算について
- ② 自主財源について
- ③ 政府の事業仕分けについて
- ④ 企業誘致について

7 久保田 悦子 議員 (10ページ)

- ① TPP問題について
- ② 介護保険問題について
- ③ 教育問題について
- ④ 住宅リフォーム助成金について
- ⑤ 長期計画について
- ⑥ 独自のアンケートの結果より
- ⑦ 国営川辺川利水事業について

8 丸目 征弘 議員 (10ページ)

- ① 町長のマニフェストについて
- ② 行政区の統合について
- ③ 芝生グラウンドについて
- ④ 風力発電所について
- ⑤ 安全・安心な町づくりについて

9 森下 孝幸 議員 (12ページ)

- ① 伝統行事について
- ② 高齢化対策について
- ③ 災害時前の取り組みについて
- ④ 農業・林業について

10 坂本 一郎 議員 (12ページ)

- ① 行財政改革について
- ② 林業振興・定住促進
- ③ 高齢者支援
- ④ 児童の健全育成について
- ⑤ 県道33号人吉水上線について
- ⑥ 障害者通所施設カムワークタンポポについて

坂口幸法議員



質問 県立高校再編問題、開かれた学校づくり、食育などの観点から、多良木高校に学食

Q 県立多良木高校に学食を

A 構想としては県に伝えていきたい

新設はできないものか。

宮本教育振興課長 今

のところが高校側にはそういう計画はないというのですが、もし、

計画などが上がった場合、

地産地消、地場産業の育成に関連した

取り決めができるように、高校側には伝えま

Q 防災体制は万全か

A 防災会議で検討

質問 奄美豪雨災害の

教訓から本町での防災

体制は万全か、未然に防ぐことは難しいが最小限度に押さえる予防

はできる。本町の地形

を熟知し危険箇所や河

川を検証した被害の想定は出来ているのか、また避難指定場所での



検証が待たれる河川

した。

町長 熊本の県立高校には一校も学食が設置されているところはない。

ということではあります。うには伝えていきたいと思いますが、構想としては大変おもしろい試みだと思いますので、県のほう

Q 木材の低温乾燥システム普及を

A 導入されているところを研修したい

質問 本町の基幹産業である林業の発展、再生のために「愛工房」社長・伊藤好則氏が発明された「色・艶・香り・精度・強度」など、木材のもつ価値を最大限に引き出す低温乾燥システムを普及させるべきではないか。

と言われてきた杉の黒芯材が、殺菌・脱臭効果などいろいろな利用価値があることや、実際、商品化されていることをニュースで見ると、この低温乾燥システムを導入されているところを、是非、研修したいと思います。



まんが「美味しんぼ」にも掲載された「愛工房」

被災者のケアをする機能や器材は万全か。

岩崎総務課長 本町でも12日に防災訓練を行いその訓練の反省等を踏まえて今後防災に活かしていければと考えています。防災会議等で危険の災害箇所等の点検は行っていますが部分の検証というのはできていないというのが現状です。早急に点検・把握していきたい

Q 事業費を持った審議会を

A 予算計上は難しい

質問 町づくり応援事業について、地域活性化や行政施策を町民サイドから応援し、より効果的に実現するため本町にある「町づくり委員会」を改め事業費を

持った「町づくり応援事業」として審議会制度で地域の文化やもやい（協働）等、地域の元気づくりに支援ができるような組織に作り変えられないか。



瀬崎哲弘議員

田中企画観光課長 実行委員会・各種団体に委託もしくは補助するようなことは可能だと思いますが、審議会そのものが事業費を持つことについては困難で

と考えています。機材等はこういう機材が本当に必要なのかなというものも含め、今後検討を行いたいと思います。

はないかと考えます。経費等は各事業の予算に計上し、議決を経た上で予算を執行するというのが現状ですので、審議会に運営費の予算をもつことはありますが、直接その予算事業費としての予算を計上するのは難しいのではないかと考えます。

井上光男議員



Q 薬価の軽減を

A 普及促進に努める

質問 病院などの薬処

方でジェネリック医薬品で対応できるものであれば、薬代の軽減につながるのでは、病院で薬の処方を受ける際には、ジェネリック医薬品の普及に取り組みを進めるべきと思うが。

澤村健康保険課長 ジェネリック医薬品につ

いては、国、県、町と

もに普及促進に努めて

いる。町では、今年4

月に全世帯の保険証全

員分のジェネリック医

薬品希望カードを配布

している。国保連合会

では平成23年度から、

医療を受けた人にジェ

ネリック医薬品を使用

した場合と、そうでな

い出るシステムを来年の6月から新しく作る予定になっている。



ジェネリック医薬品希望カード

Q 一般基準額に統一を

A 一般財源の負担増に

質問 保育料負担額を

所得割、階層割をなくして一定基準額に統一

できないか。基準額に

満たない家庭で、どうしても保育料の支払い

が不可能な場合は、行政で負担するなどの対応は検討できないか。

Q 県道改良と下水道工事を並行して

A 県道の計画に合わせ同時施工

質問 県道人吉水上線

の改良は22年度に自動車学校から青蓮寺付近までの第三工区の工事に着手したいとの説明があつていたが、黒肥地区の下水道計画との関連はどうなるのか、二度掘りを避け、地域交通の影響を少なくし、費用の削減のためにも県道の進捗具合を見ながら下水道工事を並行して実施できないか。

善環境整備課長 黒肥

地地区の下水道整備は22年から26年を計画している。県道改良と工事が合うのか問題があるが、始めにバイパスを挟んで通る、改良工事とは関係ない小林・茂原地区から工事を実施し、県道の計画が明確になった時点で同時施工していきたい。ひとつ心配なところは、早めに敷設しても未供

Q 黒肥地団地の計画は

A 実施計画に乗せ建設

質問 町営住宅の各地

区の団地数及び戸数は、

また第四次多良木町総合開発計画の実施計画

では、22年度に時出団地、24年度に黒肥地団地が計画されているが住宅の地域的な整備のあり方をどのように考えているか。



改良予定の人吉水上線

用区間が出てくる可能性はあるが、地域住民の方に迷惑を掛けないためにも供用を一年伸ばしてでも同時施工したい。

福島典生議員



Q 町民広場の活用を

A 今後の検討課題

質問 町の中心地にあるという利点を生かし、拡張も視野に入れて運動広場として多目的に使える活用方法を。

宮本教育振興課長 グラウンドゴルフとかゲートボール、学童保育の遊び場など多目的に利用されていると思う。春には花見などで地域住民の方々の心の癒しの場所としても利用されていると思う。現在は小学校の改築の関係で狭くなっているが、それが終わり次第、広



町民広場の拡張を

場を拡張しての利用なども視野に入れながら、今後の検討課題として取り組んでいきたいと思っている。

西子ども対策課長 昨年の4月に保育料の階層別基準額の改正を行ない、一般財源が700万円ぐらいの増額となっている。生活保護世帯と所得税非課税世帯は

保育料は無料であり、加えて所得税課税世帯4階層から7階層世帯の保育料が一律となる。一般財源の負担割合がさらに大きくなる。

町長 保育料に限らず無料というのは、若干疑問があり。資本主義社会なので、所得のある方にはある程度の負担をお願いしていく。

善環境整備課長 多良

木地区が11箇所・161戸、



鍋田清高議員

久米地区が7箇所・86戸、黒肥地地区が4箇所・57戸となっている。

町長 黒肥地地区に住宅建設を計画していたが、町有地がないこと、久米小学校の生徒数が最も減少していること

から、22年度は久米に2戸建てた。23年度は実施計画に乗せるため、黒肥地地区に土地を取得し、24年度に町営住宅を建てたいと思っている。

Q スポーツ活動安全会費について

A 見舞金であり保険ではない

質問 スポーツ活動安全会費の預金が約1千8百万もあるのだから、入院・通院時の見舞金の増額は考えられないのか。

宮本教育振興課長 昭

和54年より、各世帯300円の負担金をお願いした。

ここ近年支払の状況は平成19年に11万2千

円、平成20年33万7千円、平成21年23万4千円であり、現在の預金残高は1千825万1千円となっている。

町長 ここ近年会費は

いただいていません。ただこれは見舞金であり保険ではありません。入院は一日3千円で最

高60日を限度とする。通院は一日1千5

百円で最高30日を限度とするように決まっている。現在のところ検討はしているが増額ということには至っていません。こういう意見があったということを含めて今後さらなる検討をしていきたいと思っている。

Q 企業誘致は町内産活用で

A 食品系の企業を基本的に誘致活動を



山中 馨議員

質問 企業誘致について

これまで交通刑務所や風力発電など大型の誘致を進めてこられましたがいずれもうまく行っていない状況のようです。これからは町内で産出される、木材、しいたけ、米、栗、野菜などの食品の加工場などの誘致は考えられないのか。

田中企画観光課長 企業

の誘致活動は人吉球磨全町村で企業誘致連絡協議会を設置しており、会議は毎月行い、各町村間で連携した誘致活動をしております。今年度の基本的な考え方として、議員の言われた食品系の産業会社に焦点を絞り、福岡・東京での誘致活動をしております。

多良木町としても福岡県内の食品関係の会社の何社かを訪問しまして誘致活動をしているところですが。

Q 自主財源の手当ては

A 今後、主伐も検討

質問 来年は自主財源

となる町税などの落ち込みが予想される中、町有林の主伐はされないのか。

先に、計画があった主伐は材価の低迷で取りやめになったことがありましたが、今後町有林の主伐売り払いをして町の財源にあてられる考えは。

松崎農林課長 現在、材

価が上がらないということと22年度は主伐はしておりません。今材価は、杉で1万円。桧で1万5千円あたりで推移をしています。

23年度も主伐は計画はしておりませんが、作業道開設を進めており、その中で利用間伐を60ヘクタールから70ヘクタール



多良木町有林・久米財産区有林合同安全祈願祭（山神祭り）

ほとし、純利益を大体1千500万円ほど売払い、収入を見えています。今後、主伐につきましては林業従事者の雇用の場の確保という観点から主伐の実施計画の作成も検討しております。

Q TPPへの対応は

A 断固反対します

質問 TPPに参加す

れば、農業が壊滅的な打撃を受けるため、J

Aも反対行動をしています。しかも、打撃は農業だけでなく、公共

丸目征弘議員



質問 芝生グラウンド

ゴルフ場については、

Q 芝生グラウンドゴルフ場の建設は

A 概算約1億円で実施

本町でも球磨川河川敷地に建設すると現場で説明がありましたが、

高齢化が進んでいますので早急に実施していただきたい。そこで大

久保田悦子議員



質問 リフォーム助成金の利用状況や経済効果はどうなっているのか。
「新築や納屋にも使えないか」などの声もあるので、適用を拡大し、

善環境整備課長 現在、申込件数51件、事業費7千470万円、補助金が820万円です。補助事業者の約5割の方が、この事業があったからリフォームをしたと答えています。事業費が1億円ぐらいとして、5千万円ぐらいが事業効果ではないかと思っています。



築34年の家の玄関リフォーム

町長 今言われたことも含めて、予算の枠内で検討をします。

Q リフォーム助成金の増額を A 予算の枠内で検討

は、どう対応されるのか。積極的に学習会や集会を開くなど行動すべきだと思いますがどのようにお考えか。

とになるのではないかと危惧しています。セーティーネットの不備も併せて、断固反対していくことを町はもちろんのこと、郡、県一体となって国に伝えていきたいと思う。学習

会や集会については、今の段階で町独自では考えていない。郡の町村会を軸に行動をしていくときに、今後提案をしていきたいと思う。

Q 安全・安心な町づくりは A 危険度の高いところから

質問 道路交通事故は出会い頭の事故が約50%で、一旦停止標識は木のかげ等で見えにくい所がある。白線による標識がわかりやすいが、ほとんど消えている状態である。年次計画で実施できないか。多小前から国道までの

歩道改良は非常に段差があり危険です校舎改築落成までできないか。
町長 公安委員会との協議をしながら調査をし、危険度の高いところからやっていくと思っています。多小前の歩道改良はできると思いますが、ただ予算

の関係と安全の面を考慮し検討させていただきたいと思っています。また、正南通りの今残っている部分の学校前から郵便局までは工事発注をし年度内には完成させる計画で予定しています。

まかな事業内容と事業費はいくらで、いつ頃完成するのか。
善環境整備課長 面積が1万5千㎡で練習コースを含めて5面、芝、それから駐車場、管理棟、放送施設等、一部排水樋門のところに一部橋を造りますので、

概算で約1億円と見ています。
町長 23年度には予算化をし、24年度に事業着工か事業が補助事業として採択されれば23年度に事業に着手する予定で供用はでき次第と考えています。



グラウンドゴルフ場予定地

森下孝幸議員



Q 高齢者対策について

A 高齢者見守ネットワークで対応

質問 本町でも高齢化が進むなか、一人暮らしの世帯も多くなっていると思われる。今後の高齢者対策を町としてどのような考えをもっておられるか。

地域住民始め医療、福祉、司法、警察、その他の関係機関をもって構成しています。21年では一人暮らしや高齢者のみの調査を行って、「私の命のリレー事業」を実施しています。一人暮らし734戸に筒を配布しました。その他高齢者住宅の火災が多くなっているので簡易なスプリンクラー設置を考えています。

澤村健康保険課長 本町では、多良木町高齢者見守ネットワーク協議会を、平成20年度に設置し、高齢者の見守を行っています。この協議会の委員の構成は



配布されたワッペンと筒

Q 農業・林業について

A 農業支援に全力で当る

質問 本町でも農家の後継者不足が進んでいる。米価も安くなり、農家経営も苦しくなっている。今後、町として農

Q リフォーム助成金の適用拡大は？

A 事業完了後に検討

質問 林業振興、定住促進について、現在実施されている、住宅リフォームの最高額（20万円）を、町内の森林組合、業者扱いの木材50%以上、また町内の建築業者によって建てられた新築住宅にも適用できないか。

善環境整備課長 まだ事業開始から6ヶ月であり、事業完了後に予算やその適用範囲については検討する必要がある。



新築中の住宅

Q 特別職報酬の削減は？

A 現状維持で

質問 町税収入の低迷、また地方交付税の増額が望めないなか、町民サービスを下低下させないために、歳出削減（特に人件費）が必要と思われる。町の特別職（町長、副町長、教育長）

で公的年金を受け取られている方に報酬額の何%でも削減してもらえないか。

「感動は人間にしかつけれない〜」

上球磨町村議会議員研修会

さる11月9日に湯前町で上球磨町村議会議員研修会と交流会が行われた。

演題は「地域まるごと販売術 〜モノではなくココロ 感動は人間にしかつけれない〜」ということで、講師として：田舎まるごと販売研究家 松崎地域計画本舗代表 松崎了三氏による講演が1時間半にわたり行われた。

この方は、「高知県馬路村ブランド商品」の仕掛け人で馬路村を“ゆずの村”として全国に浸透させた人である。以来、“田舎まるごと販売研究家”として「農」と「食」を中心に農村のコミュニケーションの計画立案に全国を奔走中である。また地域活性化の活動を通じて、人づくりや食育、環境保護などの話を幅広くユーモアを交えて話され時間を忘れ、身を乗り出し皆聞き入っていた。

研修会後は、湯前グリーンパレスでのグラウンドゴルフ大会が開催され「統一選挙に向け議員の体力づくり」をした。（福島）



田舎まるごと販売研究家 松崎了三氏

業政策を考えておられるか。また、上球磨農業支援センター活用、農業法人化についての考えは。

町長 今、農家の厳しい状況は良く分かります。農家だけでなく他の業種も厳しい状況

になっていいると思えます。農家の場合、農地の公益性等あるわけ、水源の涵養とか、土地の保全、そういうものに国策として農業の基盤強化に努めてもらうよう国に要望していきます。

町長 町長、副町長、教育長の報酬については、平成17年4月1日から町長が10%、副町長が8%、教育長が8%の減額を行っている。元に戻したいと思っているが、まだまだ農業の活性化など実績が出ていないので、現状維持で新たな減額は考えていない。

坂本一郎議員



久保田副町長 その都度、報酬の改正をやることは不自然ではないかと思うし、また行政のあり方としてもどうかと考える。

現代日本政治と政局のゆくえは・・・

県町村議会議員研修会報告と鳥栖市場・風力発電視察

研修会を前に、多良木町森林組合が経営する「鳥栖木材市場」を市開催日に合わせて視察をした。この市場は、木材加工製品の販売を事業とし鳥栖・久留米などを中心に九州一円の木材問屋や工務店相手の木材卸事業である。

地元出身者である甲斐市場長の説明によると平成21年度は製品取扱量約3,800m³、売上金額1億3,200万円であり、また同組合の加工センターで生産する商品の半分を販売し地元産材販売に貢献し今後も期待できる施設である。

その夜は議員、町執行部ならびに多良木町出身の県職員との「第12回多良木えびす会」を開催した。本町の事業説明等を通じ情報交換を図り「多良木町」の発展に寄与することを互いに確認し懇親会へと移った。

翌日早く阿蘇の西原村へ向かい風力発電施設を視察した後、研修会場に向かった。

演題は「現代日本政治と政局のゆくえ」で、講師は日本大学法学部教授岩井奉信氏である。テレビ、ラジオ、新聞などで政治問題について評論活動を行っているなじみ深い方であり、「民主体制の問題点」「小沢氏の処置問題」等にはじまり最後は統一地方選挙を控えて「菅内閣は通常国会を乗り切れるのか、国会運営はこうあるべき」ということの内容で講演をされた。



日本大学法学部教授 岩井奉信氏

（福島）

の提案

12月22日に、子ども議会が開かれ久米小学校の
6年生17名が一般質問を行った。

今日、子ども議会が10時から12時まで役場でありました。ぼくは、「十字路の道に飛び出すな」の看板をつけてくださいと、提案しました。そのわけは、ぼくが土曜日まさひろ君の家に遊びに行こうとしたら、左右を見ずに渡ったので車にひかれそうになりました。ぼくの姉もそこで事故にあったので看板をつけてほしいと提案しました。

あと一つ理由があります。かすみさんが学校から家に帰ろうとしたら、ひかれそうになったからです。役場の方は、多良木警察署と話してみますとおっしゃったので安心しました。子ども議会に出てよかったです。

那須 文偉

今日、子ども議会がありました。みんな、しっかりと自分の意見を言えてよかったと思いました。

私は、イベントを増やしてほしいということを発表しました。

その質問の答えは、「今は、青少年の家や、さまざまなかがあるの、そういった活動で、町内の小学生の人たちとふれ合うことができます。」と返ってきました。一人一人に分かりやすく、質問の答えを言ってくれたので良かったです。

どれか一つでもいいので、私たちの考えたことが実現するとういなあと思いました。その他にも、今やっていることで知らなかったことなどもあったので、そういうことが分かって良かったです。

それに議長席や町長席などに座れてとってもうれしかったです。一生に一度とない経験ができたし、小学校のいい思い出にもなって良かったです。

最後に質問ができなかったところが少し悔いが残ったけど良かったかなと思いました。

松山 佳奈

今回、実際の議会場で役場の方々話し合いをしたことで、私は二つのことを学びました。

一つ目は、発言することの大切さです。私は学校での授業では声が小さかったり間違うのが怖くて手を挙げなかったりすることがありました。でも今回は、どうとう自分の意見を発言することで、多良木町の役にたつことが少しできました。また、その意見に対しての答えを聞き、多良木町の今を学びました。

二つ目は、相手を思う気持ちです。多良木町をどうすれば住みよい町になるのか、多良木町にどんなものが必要とされているのかは、住んでいる人にしか分かりません。だから、ユニバーサルデザインのように、年代など関係なく、だれもがうれしくなるようなことを、その人の気持ちになって考えなくてはなりません。難しいけれど、人が喜んでくれることを考えるのは、とても心が温かくなります。

私は今回、学んだ二つのことを、普段の生活や学校での授業などにいかしていきたいと思います。特に3学期からは、自分の学級を自治で進めるので今回のような発言をしたいです。

中村 愛香

【全ての質問事項】

《那須文偉》

- 久米6区の墓近くの十字路に子どもたち向けの「飛び出し禁止」の看板をつけてほしい。

《河野智子》

- アパートや住宅を造ってほしい。

《那須可苗》

- 久米図書館を造ってほしい。

《矢立郁朗》

- 久米9区の県道の補修をしてほしい。

《筑紫祐仁》

- サッカーができるグラウンドを整備してほしい。

《曾我部真瑛》

- 堂山にコンビニエンスストアを造ってほしい。

《野島花摘》

- 何でもそろうスーパーを造ってほしい。

《那須文哉・小野祐美》

- 中山運動公園に遊具を作ってほしい。

《山本聖吾・藤川堅史》

- 久米地区の公民館に公衆電話を設置してほしい。

《白濱隆大・東 洸希》

- 久米に文房具店があると便利。

《松山佳奈・星原早苗》

- 町内のイベントなどを企画してほしい。

《福屋英志》

- 毎年1回、夏に妙見野でキャンプをする企画をしてほしい。

《中村愛香》

- プルトップを集めるための箱をいろんなところに設置してほしい。



緊張の子ども議会

商工懇談会

町の活性化について商工会と行政と議会で懇談会が開催されました。

商工会より町に対して総合グラウンド横のトイレに障がい者用トイレの増設や平成23年度のプレミアム付商品券の発行事業に伴う補助金の交付予定、販売額の予定などの質問や要望が出され、町としては現在予算編成中であり検討したいとの回答でした。

今後の商工会の事業内容の説明があり、「旧やながストアー中央店」跡を改修して、道の駅ならぬ「町の駅」を設立し、出店者を募り地産地消で人の流れを町の中央にもどし、商店街の活性化につなげ、更にお年寄りの買い物の利便性にも配慮します。新春あびす植木市が2月26日（土）から3月6日（日）まで、また新春あびす市が3月5日、6日の両日に役場西駐車場一帯にて予定されています。

今後は商工行政懇談会だけでなく、広く農林業も含めたJA



町の駅 予定地

や森林組合との関係団体全部での合同懇談会を検討し、ぜひ実現させて町の活性化につなげていきたいとの町長の考えも明らかにされました。（恒松）

子どもたち

私は、子ども議会を経験して良かったと思いました。多良木町内を良くするため、たくさんの意見を出し合いました。町長さんを始め、たくさんの方々にお世話になりましたが、私たちにとっても貴重な体験でした。

私は、イベントを増やしてほしいという意見を出しましたが、分かりやすく説明していただきました。今は妙見野でのパラグライダーやえびす祭り、久米ん祭りで、たくさんの方が来てくださっているとされました。ですが私は、小さい子やお年寄りにはイベントに限りがあると思います。なので、子どもから大人まで楽しめるイベント、例えば、レクレーション大会や交流会などのだれでも仲良く楽しくできるイベントをもっと増やしてほしいと考えています。

子ども議会での質問は緊張したけれど私たちの子ども議会で、多良木町が良くなり、多くの人たちに喜んでもらえるとうれしいです。

星原 早苗

今日は、子ども議会がありました。私は、一番最初から議長として話すことになっていたので、間違えないか心配で緊張しました。でも、ゆっくり、はっきり、すらすらと読めたのでとてもうれしかったです。私の提案のときは、文哉くんといっしょだったのもあって、あまり緊張しませんでした。そして、読み終えて、何と答えられるか少し不安でした。まだ、遊具は作れないという意見で少しがっかりしたけど、遊具を使わない遊びも大切という言葉にとっても納得しました。

それで、みんなの意見を言い終わった後、郁朗くんがもう一つ提案があるから、議長を交代させられたときは、とてもびっくりしました。読んだこともないところを読むのは、少し緊張したけど、すらすら読めたのでうれしかったです。

私は、議長を務めて、いろんなことを思いました。あんな高い所から見る景色は、すごくとても貴重な体験で、あそこにいつも座っている人はすごいと思いました。それに、議員席に座るのもすごいことなのに、議長席に座れるなんて、議長になってよかったと思いました。人生に一度しかない体験だと思うので、うれしかったです。

小野 祐美

平成22年度 県町村議会広報研修会にて「たらぎ議会だより」広報コンクール2回連続入賞

さる11月11日に熊本県町村議会広報研修会が自治会館で行われた。同時に開催される第10回広報コンクール入賞発表において我が「たらぎ議会だより」が見事2回連続の入賞となった。

コンクールは1992年より2年に一度開催されるもので今回は24議会から応募があり、益城町議会の「清水」が最優秀の「特選」に選ばれ、当議会は「佳作」であった。第9回の「努力賞」につづき連続の入賞となり広報調査特別委員会の議員は鼻高々で表彰式に臨み記念撮影を終えた。（林田）



熊本日日新聞社 NIE 推進室長 講師 越地真一郎氏とともに



新春の市房山

「議会改革」ちゅうて何しよと

豆ちしき



多良男

おいどんが町じゃー
「議会改革」ばしよるげなばってん
どぎゃん事ばしよいやととな

そって具体的にゃー
何ばしやったとかなー

へー、しもーた、
おら一行かんじやった。
今度は行かんば。
そいからほかにゃー。

そらーよかことな一。
将来は子供たちがこん多良木町ば
しょってたたんばんけんな一。

へー。そらおもしろかごたるな一。
色々考えといやとばいな一、
今度また「通年議会」ちゅうとば
説明してくだいな一。

どこん議会もばってん
「議員の仕事や活動」の見えるて言われたい、
何しよととか、わからんて言われてきたどがな。
そって議員さん達も活動ば理解してもらて、
よりよか町づくりばせんばんと
思といやとたい。

まず今度の選挙から社会状況等ば考えてから
二人定数は減らして14人にしやったどがな、そいから
9月にゃー「議会報告会」ばして議会が何ばしよととか
町民にわかってもらう事しやったとたい。

そいから子供たちにも
将来自分の住んどん町に興味ばもってもらて
積極的に町づくりに参加してもらうごと小学生の「子供議会」ば
学校やらと協力してもらてしよいやとばい。

また、今後はまっと「開かれた議会」ば
めざして「議会の生中継」やら「通年議会」ば
考えといやとばい。



球磨雄

豆ちしきのご要望は事務局へ

編集後記

新年明けましておめでとござい
ます。町民の皆様におかれまして
は良き新年をお迎えのこととお慶
び申し上げます。▲今年は卯年。う
さぎの年でうさぎといえは脱兎の
如く一兎を追うものは一兎も得
ず 兎に角などの言葉を良く耳に
する。今年うさぎからイメーシす
るものは跳びはねる。それを今年
の景気に重ねて期待するのは私だ
けではないでしょう。兎に角うさ
ぎは上り坂に強い。そして大きな
耳を立て、すべてを聞き取り跳び
出す方向を見定めて走り出す。今
年の景気もそうあってほしい。▲
さて菅首相は一日付の年頭所感で
本年を明治、戦後に続く平成の開
国元年にしたいと宣言。すなわち
TPPへの参加協議の話である。
農業を営む私はTPPへの参加は
断固反対だが我が国の農業が他の
分野の足かせになるのも本位では
ない。このことは政治家だけでな
く国民の一人一人が真剣に考えて
いくことが大事だと思います。天
皇陛下の年頭のお言葉で、世界中
の皆様のお一人お一人の幸福を望
みますとお言葉の意味あいは重
いと思います。(山中)

広報特別委員会構成

◎鍋田 清高 坂口 幸法
○林田 俊策 山中 馨
恒松 春喜 福島 典生